

東京放射線

2016年9月号

Vol.63 No.742



公益社団法人 東京都診療放射線技師会
<http://www.tart.jp/>

会 告
連 載
誌上講座 第10回 超音波
研修会等申込書

第60回日暮里塾ワシコインセミナー
平成28年度城南支部研修会
第16回東放技・東京支部合同学術講演会

卷頭言 心技体...
白木 尚

診療放射線技師 業務標準化宣言

いま我が国では「安心で安全な医療の提供」が国民から求められている。そして厚生医療の基本である「医療の質の向上」に向けて全ての医療職種が参加し、恒常に活動をする必要がある。

私達が携わる放射線技術及び医用画像技術を含む診療放射線技師業務全般についても、国民から信頼される普遍的な安全技術を用いて、公開しなくてはならない。そして近年、グローバルスタンダードの潮流として、EBM (Evidence Based Medicine)、インフォームドコンセント、リスクマネジメント、医療文化の醸成、地球環境保全なども重要な社会的要項となっている。

公益社団法人東京都診療放射線技師会では、『国民から信頼され選ばれる医療』の一員を目指し、診療放射線技師の役割を明確にするとともに、各種業務の標準化システム構築を宣言する。

診療放射線技師業務標準化には以下の項目が含まれるものとする。

1. ペイシェントケア
2. 技術、知識の利用
3. 被ばく管理（最適化／低減）
4. 品質管理
5. 機器管理（始終業点検／保守／メンテナンス）
6. 個人情報管理（守秘／保護／保管）
7. 教育（日常教育／訓練／生涯教育）
8. リスクマネジメント
 - ～患者識別
 - ～事故防止
 - ～感染防止
 - ～災害時対応
9. 環境マネジメント（地球環境保全）
10. 評価システムの構築

公益社団法人東京都診療放射線技師会

診療放射線技師のための接遇規範

1. 検査に際しては明瞭で分かりやすい言葉（患者さんの分かる言葉）で話す。
2. 患者さんをお呼びするときは、姓・名を確認する。
3. お年寄り、歩行困難、病状の悪い患者さんに対する検査室のドアの開閉は、特に技師がおこなう。
4. 検査室入室後は、患者さんから目を離さないようにする。
5. 自分の名前を名乗り、検査部位と撮影回数を説明し、患者さんの同意を得てから検査をおこなう。特に小児やお年寄りの方で検査介助が必要なときは、十分な説明をおこない同意を得てから検査の介助をしていただく。
6. 脱衣の必要な検査は、検査着に着替えていただく。検査の特殊性から脱衣が必要なときは、露出部をバスタオルなどで覆う。
7. 検査台の乗り降りは、原則として患者さんの手の届くところに技師がいる。
8. 検査手順を守り、患者さんの身体に手が触れるときは事前に同意を得てから触れる。
9. できるだけ短時間で検査を終了し、「お疲れさまでした」等の癒しの言葉を述べる。
10. 検査室から患者さんが退出するまでは技師の責任である。
11. 検査室は常に整理整頓、清潔であること。
12. 仕業（始業・終業）点検は毎日おこなう。
13. 検査部位ごとの被ばく線量はいつでも答えられるようにしておく。
14. 照射録は正確に記載する。
15. 医療人として患者さんから高い信頼を得られるよう努力する。

公益社団法人 東京都診療放射線技師会

スローガン

チーム医療を推進し、
国民及び世界に貢献する
診療放射線技師の育成

2016年
SEP
CONTENTS

目 次

診療放射線技師業務標準化宣言	1
診療放射線技師のための接遇規範	2
巻頭言 心技体・こころ	4
会告1 第60回日暮里塾ワンコインセミナー	副会長 白木 尚 5
会告2 平成28年度城南支部研修会	学術教育委員会 6
会告3 第16回合同学術講演会	学術教育委員会 7
会告4 第58回きめこまかな生涯教育	学術教育委員会 8
会告5 平成28年度城北支部研修会	城北支部委員会 9
会告6 平成28年度第4回業務拡大に伴う統一講習会	10
お知らせ1 平成28年度電離箱式サーベイメータ確認校正	SR推進委員会 12
お知らせ2 平成28年度第11地区研修会	第11地区委員会 13
お知らせ3 東放技会員所属地区のご案内	情報委員会 14
連載 誌上講座 第10回 超音波	今尾 仁 15
こえ	
・フレッシャーズセミナーに参加して	青木優梨奈 21
・フレッシャーズセミナーを受講して	池部翔子 22
・「中央区クリーンデー」に参加して	藤井脩平 23
・「中央区クリーンデー」を終えて	藤田賢一 24
パイプライン	
・超音波画像研究会 第246回定例会、第247回定例会、第13回ワンバイツー講習会…	25
・第5回冠動脈模型作成セミナー	26
・胃X線精度管理研究委員会 第26回学術集会	28
平成28年度第3・4・5回理事会報告	29
平成28年1~6月期会員動向	36
研究会等申込書	38

Column & Information

・イエローケーキ	20
・東放技は積極的に参加します	22
・求人情報	36、39
・学術講演会・研修会等の開催予定	37

卷頭言



「心技体・・・こころ」

副会長 白木 尚

暦のうえでは過ごしやすい季節となりました。年度の後期に向けてやる気モードスイッチをONにして、会務・仕事・家庭・マラソンに全力で取り組んで参ります。

会務の前期を振り返りますと最も印象に残るのは、本会会員（われわれの仲間）を国政へ送り出すべく応援活動を行ったことです。残念にも叶いませんでしたが、候補者は一生懸命に診療放射線技師職が国政の一員となり発言することの必要性を訴えられました。3年間かけた精一杯の努力は、将来につながる大きな一歩になったことと確信しています。また、国会議員の方々に対して診療放射線技師の存在・職務内容について理解を深めていただけたことは大きな功績だと思っております。

さて、多くのアスリートが、競技で勝つために重要なことは「心の力」を持ち続けることと言います。「体」を作り、「技」を修得したら、最後は「心」で戦うのだそうです。心が「やるぞ！」と思わなければ、鍛えた（練習した）ことの半分も力が出ない、最後は心が重要で、スポーツの世界では“心技体”が整った時が一流の状態とされています。では、仕事ではどうでしょう。診療放射線技師に当てはめると「心」思いやり、使命感、志（想い、理想）、熱い情熱など。「技」専門知識、専門技術、コミュニケーションスキルなど。「体」日々の努力と訓練及び取り組む姿勢、能力、行動、体験などになると思います。心技体をバランスよく磨きあげることは理想ですが…なかなか簡単には行きません。スポーツと同じように、日々継続した直向きな努力が必要となります。好きなことは続くのですが…。

しかし、心がけを大切にすることはできるのでは。気持ちの持ちようで行動は変わります。心の中は顔にも態度にも出ますし、心が沈んだら声の張りも変わってきます。心の持ち方で周りの雰囲気を良くも悪くもするでしょう。自分の心をどう使うか、モチベーションをどう保つか、ビジョンを描くのも、やり抜くのも全て心のありよう次第。心が基本で、ここから何事も始まります。

よく「心を一つにして」と言います。「一心は、一般的には“心を一つ”とか、“心を集中させる”などという意味ですが、単独ではありませんが、他の言葉と組み合わさって使われます。代表的なものあげると“一心不乱”心を一つの事に集中して他の事に気をとられず、自らの信念に基づいて懸命に努力する。“一心同体”複数の人が心を一つにして行動することで、心も体も一つの人間であるかのように強い絆を持つ。このように、気も心も集中して物事に当たるという様子を表すときに使います。揺るぎない信念を持ち、かつ一致団結してものごとに当たることになれば、これほど心強い事はありません。

東放技が目指している職種の地位向上などは、個人で頼ってもなかなか実現することは困難です。一人一人の思いが集まって“一心同体”心を一つにして進んでいけたら、すごいことになるはずです。本会では秋に向けて、充実した企画を準備しております。「東放技は参加することに意義がある」研修会などに参加いただくことで、出会いがあり会話があり発見があり笑いがあり友情が生まれて、共に成長する中で考える力も養われます。「東放技はみんなのために！みんなは東放技のために！」“勉強の秋”“食欲の秋”と一緒に謳歌しましょう。

会告 1

第60回日暮里塾ワンコインセミナー

「クイズで学ぼう！ 骨折の画像診断」 ～mentimeterを使ったクイズ形式セミナー～

mentimeter（スマートフォンを使い質問をリアルタイムに集計できるツール）を使った、クイズ形式のセミナーですが第1回目の開催は大変好評でした。

そこで第2弾として骨折についての画像（診断）について、勉強したいと思い企画いたしました。

自分の知識がどのくらいなのか腕試しのつもりでご参加ください。お待ちしております。

皆さま！スマートフォン（フル充電）を持って参加してください。

<例>



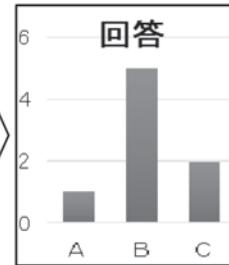
QRコードを読み込む⇒



出題

- A:正中線
B:腸腰筋
C:山手線

⇒



回答

⇒スマホで回答⇒

その場で集計 ⇒

解説

QRコードを読み込む⇒ 出題 ⇒ スマホで回答⇒ その場で集計 ⇒ 解説

記

日 時：平成28年9月28日(水) 19時00分～20時30分（受付開始18時30分）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：会員500円、非会員3,000円、一般・新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会生涯教育1.5カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

会 告

2

平成28年度城南支部研修会 放射線診療における診断参考レベルと被ばくの最適化 ～CT撮影におけるWAZA-ARIv2の活用～

講師：国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所 古場 裕介 先生

昨今、放射線被ばくに対して国民の関心が高いなか、昨年には同部位におけるCT撮影の患者被ばく線量が施設によって10倍以上差がある実態や、医療被ばく研究情報ネットワーク（J-RIME）より「最新の国内実態調査結果に基づく診断参考レベルの設定（DRLs）」が公表された事は皆さま方のご記憶に新しいところだと思います。

今回、放射線医学総合研究所の古場先生をお招きし、放射線診療における診断参考レベルについてとCT被ばく線量評価「WAZA-ARIv2」を利用した被ばくの最適化についてご講演いただきます。

「WAZA-ARIv2」はインターネット環境を利用した無料Webシステムであり、このシステムを活用することで自施設の撮影条件における患者被ばく線量管理や撮影条件の見直し、その他日常業務の一助となると考えます。

この講演では、城南支部数施設の撮影条件を用いてお話ををしていただきたいと思っており、参加される方のご参考になれば幸いです。

多くの皆さま方の参加をお待ちしております。

記

日 時：平成28年9月30日（金）19時00分～20時30分（受付開始18時30分）

場 所：東京慈恵会医科大学附属病院 大学1号館5階講堂

東京都港区西新橋3-19-18

受 講 料：診療放射線技師1,000円、一般・新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“城南支部”を選択してください）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

問い合わせ：城南支部委員会 E-mail：shibu_jyounan@tart.jp

第4地区委員長 竹安直行

第8地区委員長 鎌田 治

第11地区委員長 千葉利昭

第15地区委員長（城南支部委員長） 原子 満

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

第16回 (公社) 東京都診療放射線技師会
(公社) 日本放射線技術学会 東京支部 合同学術講演会

テーマ「災害に対する診療放射線技師の役割」

講演Ⅰ 「科学的対策 – 放射能によるテロ対策について – 」

講師：中川 崇広先生（桑和貿易株式会社
セールスゼネラルマネージャー）

講演Ⅱ 「自然災害に対する放射線技師の役割」

講師：小西 英一郎先生（災害医療センター中央放射線部主任）

記

日時：10月8日（土）15:30～18:00（受付：15:00）

会場：独立行政法人 国立病院機構災害医療センター研修室
東京都立川市緑町3256番地

参加費：会員1000円 非会員2000円 新卒入会/学生 無料

アクセス：JR立川駅北口より 徒歩 15分
タクシー 5分
立川バス(1)(2)番乗場 10分



以上

問い合わせ：公益社団法人 日本放射線技術学会 東京支部連絡事務所

Tel.03-5804-2301 e-mail : tokyoubukai-adm@umin.ac.jp

公益社団法人 東京都診療放射線技師会事務所

Tel.03-3806-7724 e-mail : gakujitu@tart.jp

会 告

4

第58回きめこまかな生涯教育 テーマ「心筋梗塞」

今回は心筋梗塞について多方面からアプローチしていきたいと思います。

発生機序から最新の治療まできめ細やかに企画いたしました。特に血管撮影を担当して浅い方や、これから従事予定の方などには最適の内容となっております。ブレイクタイムでは最新の、材質のお話をいただく予定です。

多くの方の参加をお待ちしております。

プログラム

・15:00-15:20 心筋梗塞の機序	日本赤十字社医療センター	高橋 優弥 氏
・15:20-15:40 血液データからの心筋梗塞	公立福生病院	米良 隆志 氏
・15:40-16:00 心電図からの心筋梗塞	共済立川病院	久野木佑輔 氏
・16:10-16:40 ブレイクタイム（コーヒータイム）		
・16:40-17:05 血管撮影診断	榎原記念病院	武田 和也 氏
・17:05-17:30 血管撮影治療	榎原記念病院	武田 和也 氏

記

日 時：平成28年10月29日（土）15時00分～17時30分（受付開始14時30分）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：会員2,000円、非会員10,000円（当日徴収）

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

定 員：30名（定員になり次第締め切ります）

カウント付与：日本診療放射線技師会生涯教育2.5カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujiu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

第15回城北支部研修会

**テーマ「もし診療放射線技師が医療安全管理者になつたら
—病院の医療安全管理と放射線部門管理の実際—」**

講 師：公益社団法人 地域医療振興協会 東京北医療センター 關 良充 氏

2015年10月1日に厚生労働省がはじめた医療事故調査制度もあり、世の中の新聞やマスコミ報道などで報じられる医療事故に大きな関心が集まるようになりました。病院施設でも一部の医療従事者が行った事とはいえ患者家族からの信頼が失われ、安全安心が問われる昨今です。

今から17年前（1999年）医療安全元年といわれたこの年、多くの病院施設に新たな部署として医療安全管理部門が設置されはじめたのが、ついこの間のように感じます。病院施設の幹部をはじめ、医療安全の考え方を職員の方々へ知っていただくことからはじめた時期に「医療安全文化の醸成」を推進する役割である医療安全管理者としていろいろ悩み、その時に出会ったのがベストセラーとなったマネジメント著書でした。私が診療放射線技師の仕事から医療安全管理者という全く違う仕事にどのように関わってきたのか、ベストセラー著書の組織マネジメントをヒントに仕事術について一緒に考えようではありませんか。

他職種の方もお誘いの上、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

記

日 時：平成28年11月11日（金）19時00分～20時30分（受付開始18時30分～）

場 所：公益社団法人 東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：診療放射線技師1,000円 一般・新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“城北支部”を選択してください）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

情報交換会：近隣にて（当日ご案内いたします）

問い合わせ：城北支部委員会 E-Mail：shibu_jyouhoku@tart.jp

第5地区委員長 稲毛秀一

第6地区委員長 高橋克行

第16地区委員長 工藤年男

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上





平成28年度第4回業務拡大に伴う統一講習会

主催：公益社団法人日本診療放射線技師会 実施：公益社団法人東京都診療放射線技師会

診療放射線技師法が平成26年6月18日に一部改正され、平成27年4月1日施行されました。具体的には、CT・MRI検査等での自動注入器による造影剤の注入、造影剤注入後の抜針・止血、下部消化管検査の実施（ネラトンチューブ挿入も含めて）、画像誘導放射線治療時の腸内ガスの吸引のためのチューブ挿入であり、診療放射線技師の業務内容が拡大しました。以上の業務を行うための条件として、医療の安全を担保することが求められています。この業務拡大に伴う必要な知識、技能、態度を習得することを目標とし、“業務拡大に伴う統一講習会”と称し、2日間にわたり実施することとしました。

本講習は厚生労働省と公益社団法人日本診療放射線技師会が検討したカリキュラムに従い、都道府県放射線技師会が講習会を運営し、一定レベルの講習会を全ての診療放射線技師が受講できる環境を提供することを目的としています。今年度は、静脈注射（針刺しは除く）講習会修了者との縛りを外します。本会において今年度5回実施予定の4回目として開催致します。

記

第4回

日 時：平成28年11月19日（土）9時00分～17時10分（受付8時30分から）
平成28年11月20日（日）9時00分～17時30分

場 所：駒澤大学 駒沢キャンパス
東京都世田谷区駒沢1-23-1

ア ク セ ス：東急田園都市線駒沢大学駅徒歩10分

募 集 人 数：100名

申込み期間：平成28年10月1日～平成28年11月5日

受 講 料：会 員 15,000円 非会員 60,000円
但し、各種講習受講者減免として

会 員 静脈受講者：13,000円、注腸受講者：5,000円、静脈注腸受講者：3,000円
非会員 静脈受講者：50,000円、注腸受講者：35,000円、静脈注腸受講者：15,000円

申込方法：JART情報システム内のイベント申込メニューから申し込むこと

注）東放技事務局および東放技HPからのお申し込みはできません

受講料振込等：申し込み後、日放技より振込み先の案内があります

講習会修了基準：次のいずれかに該当する場合は、修了とみなしません

ア) 講習時間15単位（1単位50分）に対し、欠課の合計時間が45分を超えた場合
イ) 欠課が15分を超えたコマが1つ以上あった場合

生涯学習カウント：修了者は「学術研修活動」カウントが付与されます

以上

プログラム

1日目（土）

時限	時 間		内 容	
	8:30～ 8:50	20	受付	——
	8:50～ 9:00	10	オリエンテーション	
1	9:00～ 9:50	50	静脈注射（針刺しは除く）1*	講義（DVD 聴講）
2	9:50～10:40	50	静脈注射（針刺しは除く）2*	講義（DVD 聴講）
3	10:50～11:40	50	静脈注射（針刺しは除く）3*	講義（DVD 聴講）
	11:40～12:40	60	昼休み	——
4	12:40～13:30	50	下部消化管 1*	講義（DVD 聴講）
5	13:30～14:20	50	下部消化管 2*	講義（DVD 聴講）
6	14:30～15:20	50	下部消化管 3*	講義（DVD 聴講）
7	15:20～16:10	50	下部消化管 4*	講義（DVD 聴講）
8	16:20～17:10	50	法改正	講義（DVD 聴講）

2日目（日）

	8:40～ 9:00	20	受付	——
9	9:00～ 9:50	50	IGRT1	講義（DVD 聴講）
10	9:50～10:40	50	IGRT2	講義（DVD 聴講）
11	10:50～11:40	50	IGRT3	講義（DVD 聴講）
	11:40～12:40	60	昼休み	——
			1班	2班
12	12:40～	60	BLS	50 下部 実習
13		50	静脈	50 IGRT 実習
14	休憩 10分	50	下部	50 静脈 実習
15	～16:20	50	IGRT	60 BLS 実習
16	16:30～17:20	50	確認試験	試験
	17:20～17:30	10	修了式	

*受講済みの場合、講義免除対象とする。ただし実習および確認試験は免除対象外である。



■ 交通アクセス

所在地：〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1

電車の場合

東急田園都市線「駒沢大学」駅下車。「駒沢公園口」出口から徒歩約10分。

お知らせ

1

平成28年度 電離箱式サーベイメータ確認校正

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会 SR推進委員会

このたび、電離箱式サーベイメータ確認校正^{注)}（線源：60Co, 137Cs）を実施いたします。施設で保有するサーベイメータの確認校正をご希望される方は、この機会にぜひご参加ください。

注) 確認校正とは、サーベイメータの実用校正による校正定数が継続して使用可能かを判定する校正方法であり、校正定数を保障するものではありません。

記

日 時：平成28年11月6日(日) 10時00分～16時00分（受付開始9時30分～）
会 場：駒澤大学 駒澤キャンパス

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1

ア ク セ ス：東急田園都市線「駒沢大学」駅（各駅停車をご利用ください）
東急田園都市線は地下鉄半蔵門線と直結しています。

定 員：約14名程度

参 加 費：無 料

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

お申込みの際は、通信欄に下記情報の入力が必要となりますので事前にお調べ下さい。

①施設名 ②製造メーカー ③型式 ④製造番号 ⑤製造年月日 ⑥本事業への参加歴

詳細につきましては、参加申込後に担当者よりメールにてお知らせいたします。

申込期限：10月21日(金)

問い合わせ：SR推進委員長 渡辺 靖志 E-Mail：saigai@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

第11地区研修会 テーマ「MRI（再）入門」

今回11地区では脊椎MRIに関する研修会を開催致します。「脊椎MRI（再）入門」と題しまして、診療放射線技師が知りたい脊椎MRI検査に携わる際に必要な解剖、撮像方法、疾患などを実際の症例を交えた講義を通して皆様と一緒に勉強できる研修会を企画いたしました。

これからMRIに携わる方、MRI初心者の方、この機会に再度基本から復習したい方、多くの皆さまの参加をお待ちしております。

「脊椎MRI入門～基本的な解剖から撮像法と臨床例を交えて疾患の紹介～」

東邦大学医療センター大橋病院 放射線部

日本磁気共鳴専門技術者認定機構 上級磁気共鳴専門技術者 服部 尚史 氏

記

日 時：平成28年11月10日（木） 19時00分～20時30分 （受付開始18時30分～）

場 所：東邦大学医療センター大橋病院 教育棟1F臨床講堂

交 通：東急田園都市線 池尻大橋駅下車 徒歩6分

：京王井の頭線 駒場東大前駅下車 徒歩10分

※詳細は東邦大学医療センター大橋病院HP

(<http://www.ohashi.med.toho-u.ac.jp/>) をご覧ください。

受 講 料：診療放射線技師500円

一般・新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

申込方法：area11@tart.jpのアドレスへ氏名・地区・勤務先をお知ら

せください。もししくは、東放技ホームページ

(<http://www.tart.jp/>) の研修会申し込み、または会誌の研修会等申込用紙にて事務所にFAXで申し込んで下さい。

※当日参加も歓迎いたします。

問い合わせ及び連絡先：

第11地区委員長 千葉利昭 E-Mail : area11@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務局 TEL・FAX : 03-3806-7724

以上



お知らせ 3

あなたはご自分の所属地区をご存じですか？

東京都診療放射線技師会は、東京を13の地区に分け、東京に隣接する千葉方面・神奈川方面・埼玉方面を加えた計16地区で構成されています。

本会ホームページhttp://www.tart.jp/に各地区の表と地図が掲載されていますので、ぜひ活用ください。

トップページの
ここをクリック

東京都診療放射線技師会からのお知らせ

お知らせ

地区紹介ページ

厚生調査委員会
アンケート結果

2014年度
研修会ペッタ等の開催予定

会員登録

入会のご案内

入会のご案内

2014/10/17 【お知らせ】平成26年度「電離式サ...
2014/10/01 【お知らせ】地区紹介ページを更新しま...
2014/10/17 【研修会】第41回日暮里塾ワンコイン...
2014/10/06 【研修会】第4地区研修会（開催日12/4...
2014/10/06 【研修会】第1地区研修会（第2回）（1...
2014/10/06 【研修会】第3地区研修会（開催日11/2...
2014/10/06 【研修会】城南支部研修会（開催日11/1...
2014/10/06 【研修会】第7地区研修会（第1回）（1...
2014/10/06 【研修会】第16地区研修会（TART・S...
2014/10/06 【研修会】第40回日暮里塾ワンコイン...
2014/10/06 【研修会】第13地区研修会第39回日暮...
2014/10/06 【研修会】第17回メディカルマネジメ...
2014/10/06 【研修会】第38回日暮里塾ワンコイン...
2014/09/06 【研修会】第6地区研修会（開催日10/3...
2014/09/06 【研修会】第53回きめこまかなる生涯教...

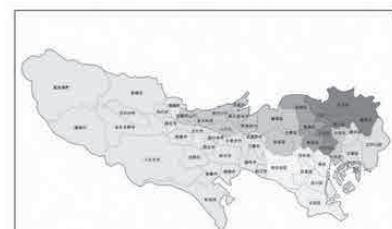
なお、毎月月替りで、各地区的特色や活動を紹介しています。
地区表の上の地区名からリンクしていますので、こちらもぜひご覧ください。

第1地区	第5地区	第9地区	第13地区
第2地区	第6地区	第10地区	第14地区
第3地区	第7地区	第11地区	第15地区
第4地区	第8地区	第12地区	第16地区

情報委員会



城東支部	第1地区	千代田区	
	第2地区	中央区	台東区
	第7地区	豊田区	江戸川区
	第14地区	千葉方面地区	千葉地域
城南支部	第4地区	港区	大田区
	第8地区	品川区	大田区
	第11地区	世田谷区	目黒区
	第15地区	神奈川方面地区	神奈川地域
城西支部	第3地区	新宿区	
	第9地区	板橋区	墨田区
	第10地区	練馬区	中野区
多摩支部	第5地区	文京区	荒川区
	第6地区	荒川区	墨田区
	第16地区	埼玉方面地区	埼玉地域
	第12地区	西東京市	東久留米市
	第13地区	小平市	東大和市
	武藏村山市		
	第14地区	上記、第1-12地区以外の多摩地域	



誌上講座 超音波

超音波検査 はじめの一歩 (Vol.10-頸動脈)

今尾 仁 (中央医療技術専門学校)

【はじめに】

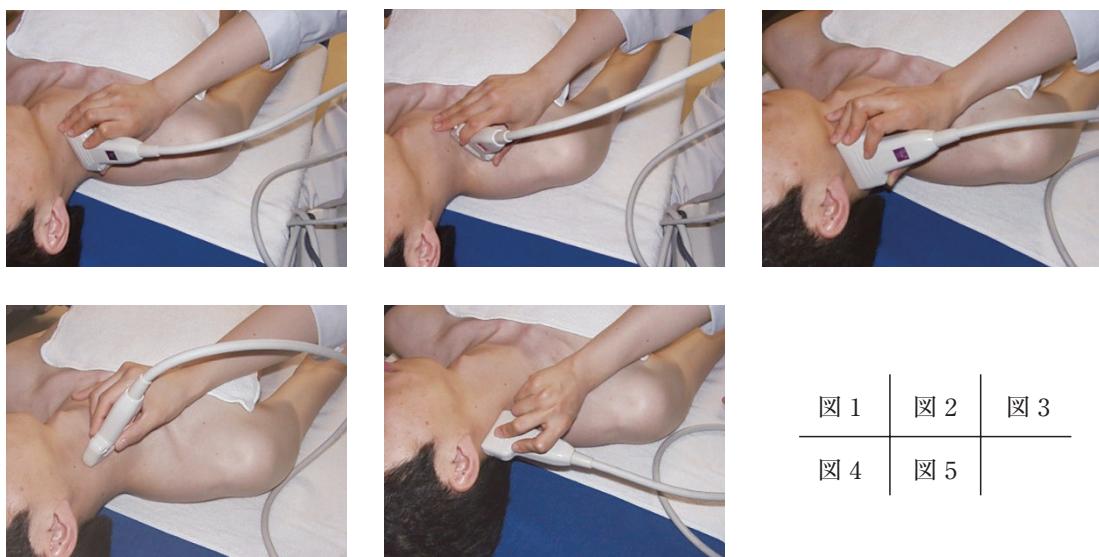
これまで腹部領域の超音波検査を中心とりあげてきましたが、今回は頸動脈の超音波検査を取り上げていきます。脳血管疾患の死亡数は125万人/年となり、近年では我が国の死因の第4位となっています。その原因でもある動脈硬化の検査は様々ありますが、頸動脈超音波検査では内中膜複合体厚やプラーカ、狭窄部位、血流状態などを把握するのが目的となります。プラーカの定義は各学会、研究会でそれぞれに定義が異なるため、全てにおいて有意病変とは言うことができませんが、今回は血管壁に生じる血管内腔の狭窄に関与する病変をプラーカとして用語の使用します。

頸動脈超音波検査では形態を把握するBモード、血流方向や速度の計測などにドプラ法が使用されます。ドプラ法の詳細については本誌2015年10月号Vol.62 No.732 P22~25をご参照ください。

走査方法においては頸部超音波検査と腹部超音波検査では異なる点がいくつもあります。頸部超音波検査では観察対象は皮膚面から4~5cm程度の深さに存在するため、主に7MHz以上の高周波リニアプローブが使用されます。近年は10MHz以上のより周波数が高いプローブが望ましいと言われていますが、一般的には7MHz程度のもので最低限の検査を実施することは可能です。体格により観察深度が4cmを超える場合は7MHz以下のものや、コンベックスプローブを使用する必要がある場合もあります。プローブでの圧迫についても頸部領域では腹部領域のように強く圧迫する必要はありません。被検者が苦痛を感じない程度にプローブが密着する程度の圧迫をします。最も大きな違いとしては縦走査における画像の表示方向です。甲状腺超音波検査では腹部領域と同様な表示方向で、モニターの左側が頭側、右側が足側となります。しかし、頸動脈超音波検査ではこの表示と異なる表示をする場合があります。モニターの左側を中枢側、右側を末梢側（モニターの左側が足側、右側が頭側となる）と推奨される学会、研究会があり、この表示方法が主流となっています。表示方法については現在も統一されておりません。腹部領域の検査経験がある場合はハンドリングが逆になるため、最初は戸惑いを感じます。今回は頸動脈の画像は日本脳神経学会の表示方法に準じて画像を提示します。

【頸動脈の描出】

頸動脈の検査は総頸動脈起始部から内・外頸動脈末梢側の描出可能な範囲までが観察可能域となります。血管のような管腔構造物の走査は短軸像による走査が基本となります。横走査で鎖骨上窩にプローブをあてることで総頸動脈の短軸像が描出されます（図1）。鎖骨の裏側をのぞき込むようにプローブを傾けると総頸動脈の起始部が描出されます（図2）。右総頸動脈は腕頭動脈から分岐されるが、左総頸動脈は大動脈から直接分岐する。そのため左側は右に比べて大きくプローブを傾ける必要があります。起始部から末梢側へ短軸のまま走査するときに、鎖骨や下頸骨にプローブがあたる部位以外ではプローブが垂直になると明瞭な画像が描出されます。下頸骨にあたる位置からプローブを頭側をのぞき込むようにプローブを傾けることで、末梢側の血管を描出することができます（図3）。超音波の特性により側壁が描出不良となりやすいため、頸部前方からの走査だけではなく、頸部側方からの走査を加えることで血管壁の全周を走査することができます。横走査の後に縦走査でも同様に走査を行いますが（図4）、横走査に比べて起始部や末梢側の描出範囲は狭くなります。縦走査でも頸部側方からの走査を行うことで、見落としの防止につながります（図5）。総頸動脈を縦走査で描出した状態からビームを外側に向けることで横突起の音響陰影の間に椎骨動脈が描出されます。



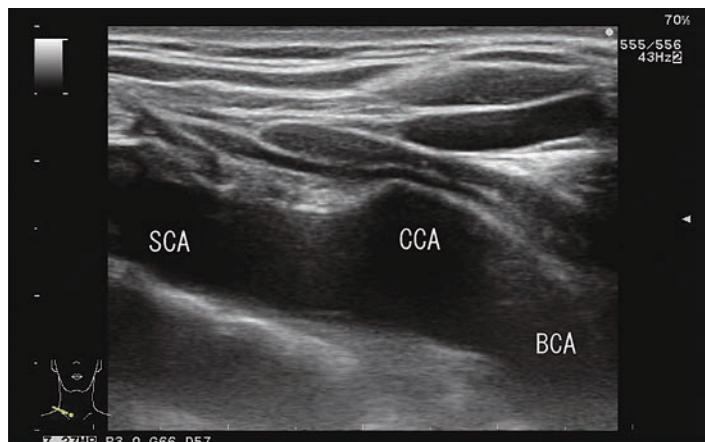
【検査手順】

Bモードでの観察はどの場合でも実施されるが、各種計測については健診や精査など目的に応じて実施されない場合もあります。

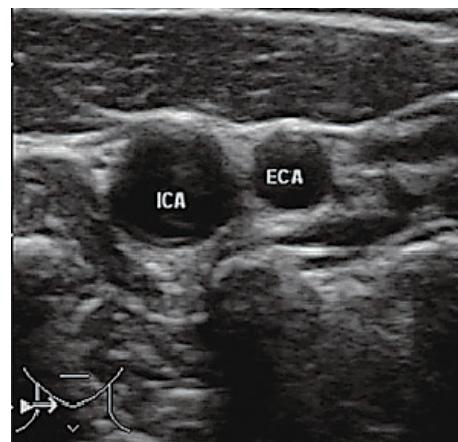
検査体位は背臥位でまくらは使用しません。頸を挙上し、非検側へ30度程度傾けて走査を実施します。

1. Bモード：横走査（頸部前方アプローチ、頸部側方アプローチ）

短軸像で総頸動脈起始部～内・外頸動脈末梢側の描出可能範囲までを走査。血管の形態、走行、壁構造、内腔、周辺組織の評価をします。総頸動脈起始部（図6）では足側に、内・外頸動脈末梢側（図7）では頭側にプローブを傾けることもありますが、それ以外ではプローブは垂直にスライド走査を行います。



(図6)



(図7)

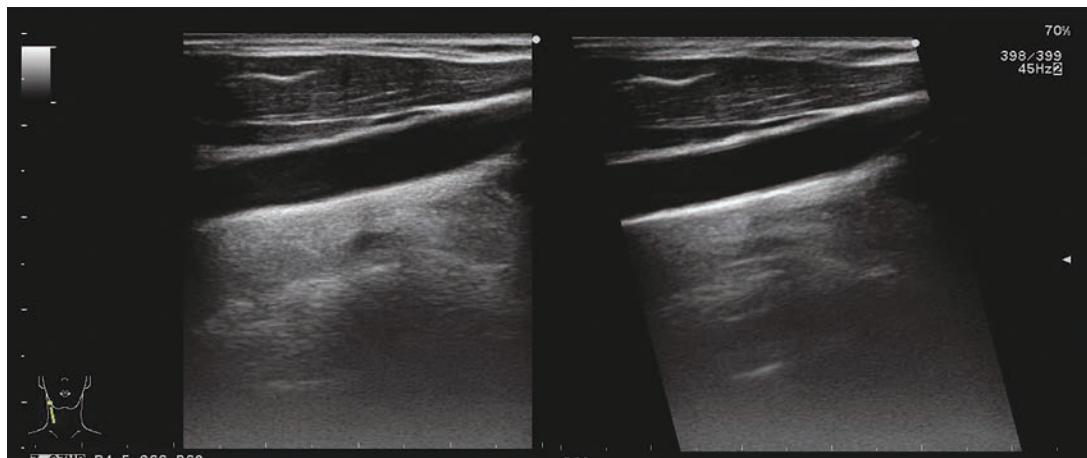
2. Bモード：縦走査

(頸部前方アプローチ、頸部側方アプローチ)

長軸像で総頸動脈～内・外頸動脈末梢側の描出可能範囲まで、椎骨動脈の描出可能範囲を扇状走査を行いながら走査します（図8）。頸部前方アプローチでは浅い位置に血管が描出され、また音響窓となる組織に乏しいため近位壁が不明瞭となりやすいため、やや側方から内頸静脈を音響窓として、もしくは胸鎖乳突筋越しにやや深い位置に描出するに走査します。また血管径やIMT（後述）を計測します。血管に対し垂直にビームが入射するように注意が必要です。垂直にあたらない場合は血管壁が不明瞭となります。プローブの操作で角度がとれないときはスラント機能を使用することで血管走行に垂直なビームの送受信が可能となり、明瞭な画像を得ることができます（図9）。



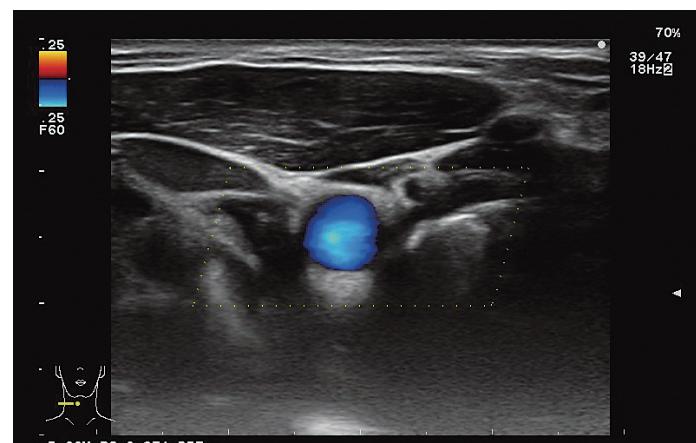
（図8）



（図9）

3. ドプラ：横走査

血管内腔と同等のエコーレベルのplaquesは、カラー・パワードプラではドプラ信号の欠損像を呈するため、頸動脈の超音波検査では必須となります。カラードプラを使用し、短軸像で①と同様に走査します（図10）。Bモードでは不明瞭な血管内腔への突出病変の評価をカラーの欠損部の有無でします。モーションアーチファクトに注意しながら走査します。プローブは垂直ではなく、ドプラの検出感度を重視して頭尾方向のいづれかへ10度程度傾けて走査します。

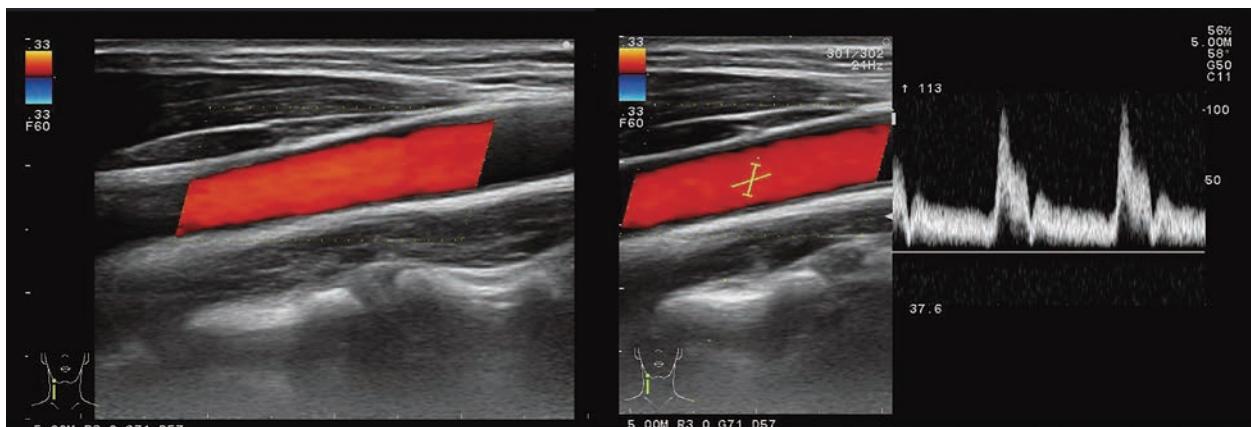


（図10）

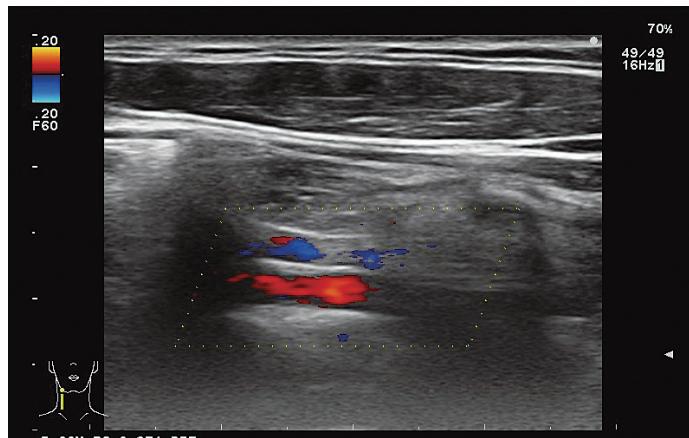
4. ドプラ：縦走査

カラードプラを使用し、長軸像で②と同様に走査、評価します（図11）。③と同様な注意が必要です。またパルスドプラを使用し、総頸動脈、内・外頸動脈、椎骨動脈の血流速度、血管抵抗などを評価します（図12）。血管走行がプローブと垂直ではなく、すこし傾くことで明瞭にカラーが描出されます。スラント機能を使用しても明瞭に描出することが可能です。

血流速度の計測では超音波ビームと血管軸の角度が60度以内になるように血管を描出する必要があります。60度を超える角度補正では誤差の大きい値となります。サンプリングサイズは血管の3分の2程度となる大きさで設定します。血管内腔の血流速度は血管中心と血管壁近傍で差があるため、必ず血管中心を含めて計測します。



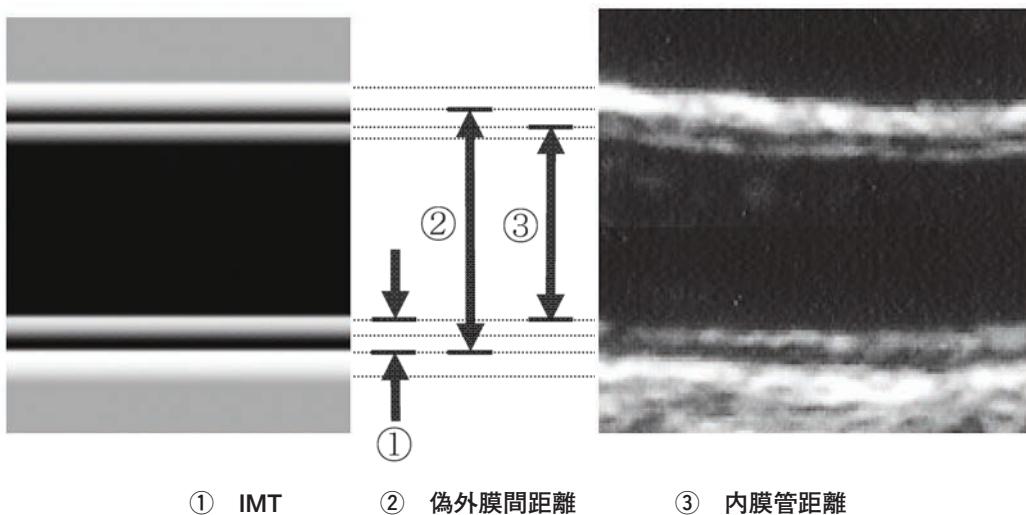
(図11)



(図12)

【IMT・血管径測定】

動脈硬化は血管内皮が障害を受けることで内皮の肥厚、硬化が進行する。超音波画像検査では血管の内膜と中膜を分離して描出することができないため、内中膜複合体（IMC : intima media complex）の厚みである内中膜複合体厚（IMT : intima media thickness）を測定します。IMCはビームと血管壁を垂直に入射することで明瞭に描出することができます。それが困難な場合はスラントなどの機能を使用します。頸部のやや側面からアプローチをすることで、内頸静脈を音響窓とすることで、近位壁を明瞭に描出することができます。IMTの測定は遠位壁で計測します。超音波診断装置において距離の測定はピクセルサイズを計測するため、計測をするとき画像を視野深度、ズームを使用して血管をできるだけ拡大して表示した状態で計測をします。IMTの上限の基準値は50歳代を1mmとして、そこから10歳代ごとに0.1mm変動すると覚えておくとよいでしょう。



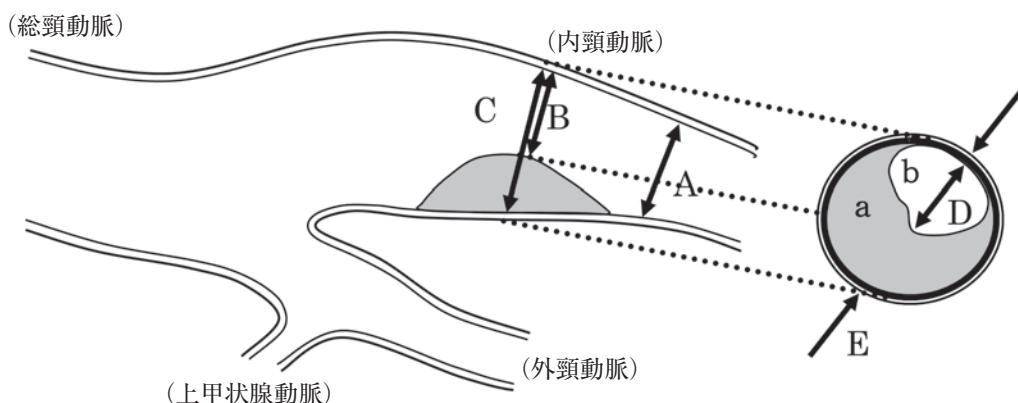
① IMT ② 偽外膜間距離 ③ 内膜管距離

IMTの基準値（早期動脈硬化研究会参照）

20～29歳	≤ 0.7 mm
30～29歳	≤ 0.8 mm
40～49歳	≤ 0.9 mm
50～59歳	≤ 1.0 mm
60～69歳	≤ 1.1 mm
70歳以上	≤ 1.2 mm

【狭窄部位の計測】

プラークにより血管内腔に狭窄が生じた場合は、その狭窄率を計測します。狭窄の程度はECST (European Carotid Surgery Trial) 法、NASCET (North American Symptomatic Carotid Endarterectomy Trial) 法、径狭窄率、面積狭窄率にてそれぞれ提示します。計測方法によってそれぞれ数値が異なります。NASCET法は血管造影などでも使用される計測方法であるため、対比しやすい計測方法となります。



- ・ NASCET法： $100 \times (A - B) / A (\%)$
- ・ ECST法： $100 \times (C - B) / C (\%)$
- ・ 径狭窄率： $100 \times (E - D) / E (\%)$ (D：血管腔の内周径 E：偽外膜間距離)
- ・ 面積狭窄率： $100 \times (a - b) / a (\%)$

【装置設定のツボ】

装置ごとに各メーカーで設定されたパラメータがプリセットされているが、頸動脈検査のプリセットは血管内腔がゲイン、DRがやや低めの設定になっていることが多くみられます。血管内腔がスッキリとした抜けの良い画像を得ることができます。エコーレベルの低いplaquesの発見が困難な場合もあります。ゲイン、DRともにプリセットより高い設定で、血管内腔にわずかにエコーレベルが見える程度で走査するとハイリスク群のplaquesの見落としを防ぐことができます。しかし、近位壁側では多重反射、ミラーイメージなどが目立つようになるため、STC、フォーカスなどの調整も必要です。

参考文献

- 菅 和雄：中央医療技術専門学校超音波実習教材（頸動脈・甲状腺・乳腺編）
 - 日本超音波検査学会 監修：血管超音波テキスト、医歯薬出版株式会社

イエローケーキ

私の道楽…

少し前になるが、中古で刺繡ミシンを購入した。妻には内緒での衝動買いである。小学生の娘のハンカチ、タオルなどに名前を付けてあげたいとの思いからである。

いざ家にミシンが届くと、その大きさにチョットビックリであった。今まで使用していたミシンの1.5倍、さらに刺繡キットがそれと同じくらいの大きさで1箱。しばらくは妻から冷やかな視線が向けられた。

気を取り直して刺繡をはじめようとすると下地となる紙が必要であったり、刺繡できる文字の種類が制限されていたり、知らないことが多すぎた。結局、タオルに名前を入れるのに2週間もかかってしまった。その後ネックウォーマやハンカチ等に刺繡で名前を付け、ミシンは一旦お蔵入りしていた。

最近になって妻から、「使わないのもったいないから、息子の部活の上級生が持っているチームタオルに似せて、1年生にも作ってあげて」との依頼。

ここは妻にも息子にもポイントを稼ぐチャンスと思い、二つ返事でOKした。ところが刺繡データの基礎も知らない私には限界があり、簡単にはことが進まなかった。刺繡データについてインターネットで勉強し、パンチングデータを一針一針作成し、ようやく校章をバックにいれたデザインが完成した。

マフラー・タオルを購入し、いざ本番。我ながら上手くできたと思い、勇んで妻と息子に見せると、息子は上々の反応をしてくれたが、妻からは「ハデすぎる。」と、いま一つであった。結局、息子の分だけで今回の作品は終了となってしまいそうだ。

ただ、時間をかけてのものづくりは大変楽しい時間であった。お金をかければ簡単にデータを作成できるソフトもあるが、これからも時間を見つけてはゆっくりと作品を作っていくたいと思う…。

早速、息子から漢字で名前入りのグローブケースが欲しいとのうれしい依頼が…。漢字は複雑で難しいけれど、楽しんで作成したいと思う。

wide-base

こえ

フレッシャーズセミナーに参加して

東京都健康長寿医療センター 青木優梨奈

今回、私は5月29日に開催された、「診療放射線技師のための フレッシャーズセミナー」に参加させていただきました。医療人としての基本から臨床に直結することまで幅広い内容を講義していただき、とても濃く充実した1日でした。

講義内容は病院内のマナーや医療安全・感染対策、そして患者接遇。また胸部撮影や解剖、CT装置の基礎や撮影技術などでした。

この中でも特に印象的だったのが「患者接遇」です。接遇とは相手をもてなすこと。病院における接遇とは患者さんをもてなすこと。つまり、患者さんが「ここにきてよかった」「次回もここで受けたい」と思ってもらえるようベストな検査・撮影をすること。これを実現させるには、まず患者心理を考えることが大切であるという内容でした。各検査によって、検査前後によって、患者さんはさまざまな不安と心配を抱きます。私たちはその都度患者さんの目線に立ち、寄り添って、

丁寧な説明と声掛けをする必要があります。そうすることで患者さんの不安感を取り除き検査への理解を促せ、結果として検査が円滑に進みます。私たち診療放射線技師がより良い検査・撮影を行うには、個人の撮影技術や知識だけでなく患者さんの協力がとても大切であるのです。今回の講義ではこのことを改めて実感することができました。それと同時に、自分自身の患者さんへの接し方に対する反省も多々浮かびました。

私はまだ診療放射線技師として働き始めてから2か月半です。今は撮影技術や知識を覚えることに必死で、患者さんことを第一に考えながら検査・撮影をしていたかと問われると自信を持って“はい”と答えることができません。今回の講義ではそんな自分を一喝していただけたような気がしました。今後は「自分が患者さんの立場だったらどうなのか」を念頭に置き、自分の患者接遇を見直していきたいと思います。

こえ

フレッシャーズセミナーを受講して

東京慈恵会医科大学附属第三病院 池部翔子

「平成28年度診療放射線技師のための フレッシャーズセミナー」に参加させていただきました。エチケット・マナー、医療安全対策、接遇・患者心理について、また、胸部撮影や気管支解剖、CTの基礎、被ばく低減についても学習することができました。現場に出て間もない診療放射線技師としてとても有意義なものとなりました。

マナーや接遇の面では、まだ目の前の事柄に気を取られ、広い目で物事を見る余裕がなくなってしまうこともあります。しかし、自身の言動が患者さんの気持ちを左右するということを改めて認識しました。患者さんへの対応を見直す良い機会となりました。日常業務において常に患者さんの気持ちを考え、不安感を取り除き安心して検査を受けていただけるよう、自身の

接遇の質を高めていきたいです。

また、胸部撮影については胸部X線画像における異常陰影のパターンを学ぶことができました。正常画像とそうでない画像の違いをCT画像と比較しながら確認し、理解していくことがX線画像を読む力になるということも学びました。気管支解剖と合わせてCT画像と比較しながら正常解剖を覚えること、自分の撮った画像を確認していくことで画像を読む力を養っていきたいと思います。

今回の講座は、これから診療放射線技師として成長していくうえで参考となるものばかりでした。学習した内容を実践し、患者さんの気持ちに寄り添える高い技術を持った診療放射線技師に成長していきたいです。

東放技は積極的に参加します

練馬まつり 健康フェスティバル

平成28年10月16日(日)

としまえん

中央区健康福祉まつり2016

平成28年10月23日(日)

福祉センター・中央区保健所

レントゲン週間『11月2日(水)～8日(日)』 イベント

平成28年11月5日(土)

横浜クイーンズサークル

OTAふれあい フェスタ2016

平成28年11月12日(土)～13日(日) ポートレース平和島(水のエリア)

ピンクリボン ウォーク2017

(予定)

日比谷公園

こえ

「中央区クリーンデー」に参加して

浅草病院 藤井脩平

「東京放射線」のお知らせを確認したところ今回の清掃活動を見つけ、地域活動に貢献できるということもあり、参加させていただきました。

今回は放射線科として参加させていただきましたが、地域に密着した病院であり、患者様により近い医療従事者であるためにはこのような地域活動に積極的に参加して、コミュニケーションの場を大切にすることも重要であると考え、病院としての参加を促す必要もあったのではないだろうかと感じました。

歩道の清掃をしていく中で目に見える大きなごみはとても少なくきれいに見えました。しかし、花壇の中

を見るとタバコの吸い殻、飴の袋などの小さなごみが、そして隠れて見えにくい場所には空き缶が多く見つかりました。これは、その場所にバスの待ち時間などで常習的にごみを捨てている可能性が高いと感じ、日ごろから清潔を保ちごみを捨てさせない環境をつくることが大切なではないだろうかと感じました。

今回の清掃活動に参加して、普段はあまり気にしない通り過ぎてしまう点にも目を向けることの大切さを実感しました。また、地域の参加者や他の病院の方とも交流が深められたため、本当に参加してよかったです。



「中央区クリーンデー」を終えて

永寿総合病院 藤田賢一

今回で2回目の中央区「クリーンデー」。第2地区としての参加動機は地区委員の活性化をかね、無理なく・楽しく・継続できることを検討し、毎年5月30日(ゴミゼロの日)に近い日曜日に、中央区内一齊清掃「クリーンデー」に2020年オリンピックが開催される年まで最低5年間は継続して参加しようと地区委員会で決めたのが始まりです。

清掃活動は、午前9時からの1時間30分程、場所は「中央区健康福祉まつり」が行われる中央区保健所近辺の歩道や植え込みなどを近隣の町会の方と一緒に清

掃し、作業が終わると気さくにお茶やお菓子、今回は掃除道具一式を数セットいただきました。その後は、参加者全員で隅田川を渡り月島で昼食を堪能し、無理なく・楽しく・引き続き活動できる事を約束し帰路に着きました。

本年度からは関谷地区委員長にバトンタッチし、この活動が継続できるよう引き続き私も参加しますが、地区会員の参加を募っていますのでよろしくお願いします。





定例会・講習会のお知らせ

超音波画像研究会

<http://us-image.kenkyuukai.jp/>

第246回定例会

日 時：平成28年9月28日（水）19時00分（受付18時30分）
会 場：中央医療技術専門学校（東京都葛飾区立石3-5-12）
講 師：東京臨海病院 藤井 雅代 先生
テー マ：『乳腺 MMGとUSの優位性比較』
参 加 費：会員500円/準会員・非会員1000円/新入会3000円（入会金含む）/学生無料
近年、非常に注目されている乳腺超音波画像検査においては何度も定例会で講演されております。第246回定例会では乳腺超音波検査の話のみではなく、乳腺X線検査の画像についても踏込んで所見を比較することで、超音波とX線検査の双方の理解を深め、乳腺の検査の質を高めるための内容で開催いたします。講師には双方の検査に携わる東京臨海病院 藤井 雅代先生をお招きします。

第247回定例会

日 時：平成28年11月9日（水）19時00分（受付18時30分）
会 場：東京都診療放射線技師会研修センター（東京都荒川区西日暮里2-22-1）
講 師：慈友クリニック 堀 洋児 先生
テー マ：『腎尿路の正常変異』
参 加 費：会員500円/準会員・非会員1000円/新入会3000円（入会金含む）/学生無料
例えば馬蹄腎、これは2,000人に1人の頻度と言われます。1日10人すべて新患と仮定して腹部エコー検査を担当しているとすれば1年に1例は遭遇している計算です。これまで遭遇していないとすれば見逃している可能性も考えられます。また、重複腎孟がBertin柱により分離して見える腎中心高エコー帯なのか迷うこともしばしばです。その他の正常変異を含め、知識を深めておけば、迷った際の道標となることと考え、堀先生にご講義して頂きます。

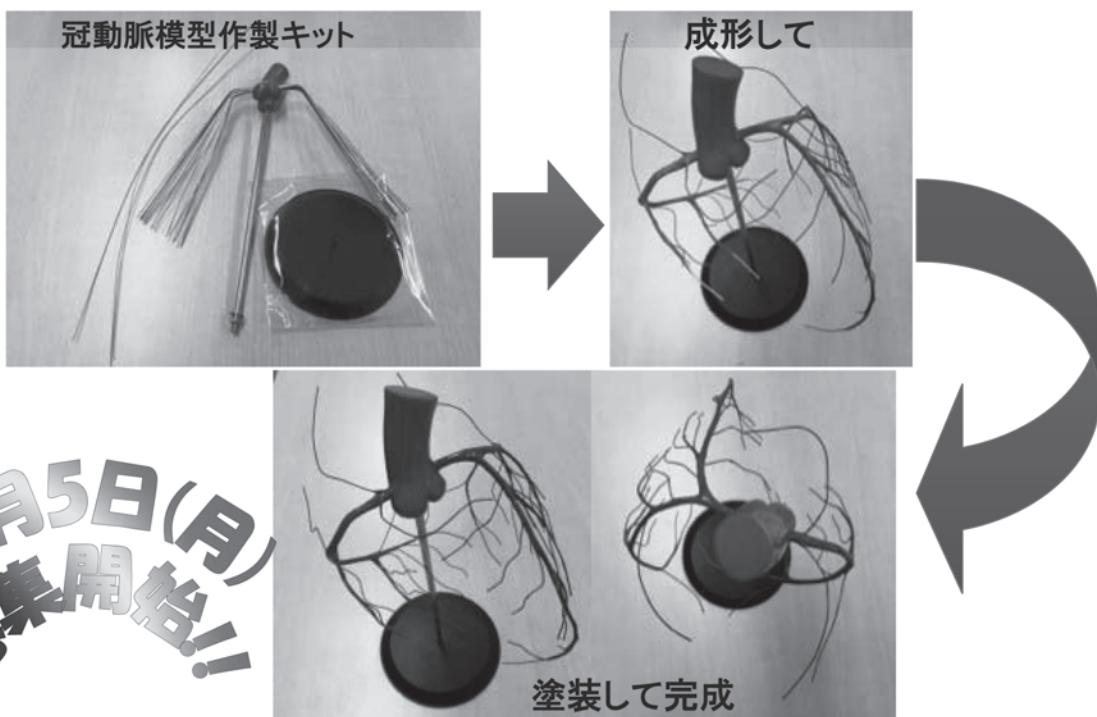
第13回ワンバイツー講習会

日 時：平成28年10月23日（日）8時45分～17時（受付8時30分）
会 場：中央医療技術専門学校（東京都葛飾区立石3-5-12）
定 員：12名（定員となり次第受付を終了致します）
参 加 費：会 員20,000円（昼食含む、会員とは入会金支払い済である会員）
準会員25,000円（ホームページ上での入会者、入会金、昼食含む）
非会員25,000円（入会金、昼食含む）
経験1年位までの方を対象とした、装置1台に受講者は2名としレベルアップのための徹底したハンズオンセミナーです。

申込方法・問合せなど詳細は超音波画像研究会ホームページにて

問合せ先：中央医療技術専門学校 菅 和雄、今尾 仁 あて
tel 03-3691-1879 (16時30分～18時)
超音波画像研究会 事務局
e-mail us.image.workshop@gmail.com

循環器画像技術研究会 主催
第5回 冠動脈模型作成セミナー



- 初心者でも、講師が懇切丁寧にできあがるまでお手伝いしますので、誰でも**安心して** 冠動脈模型を作れます
- 実際に自分自身で模型を作ることにより、冠動脈の解剖を立体的に把握でき、番号(区分)も**体感で** 覚えることができます！

※ 作り終わったあと循研の定例研究会にも参加できます(参加費無料)

※ お昼の時間をはさみますので食事は各自でご用意お願いします。

塗装後乾燥させている間に会場にて食事していただくことができます。

塗装開始時間の目安は1:30頃になります。

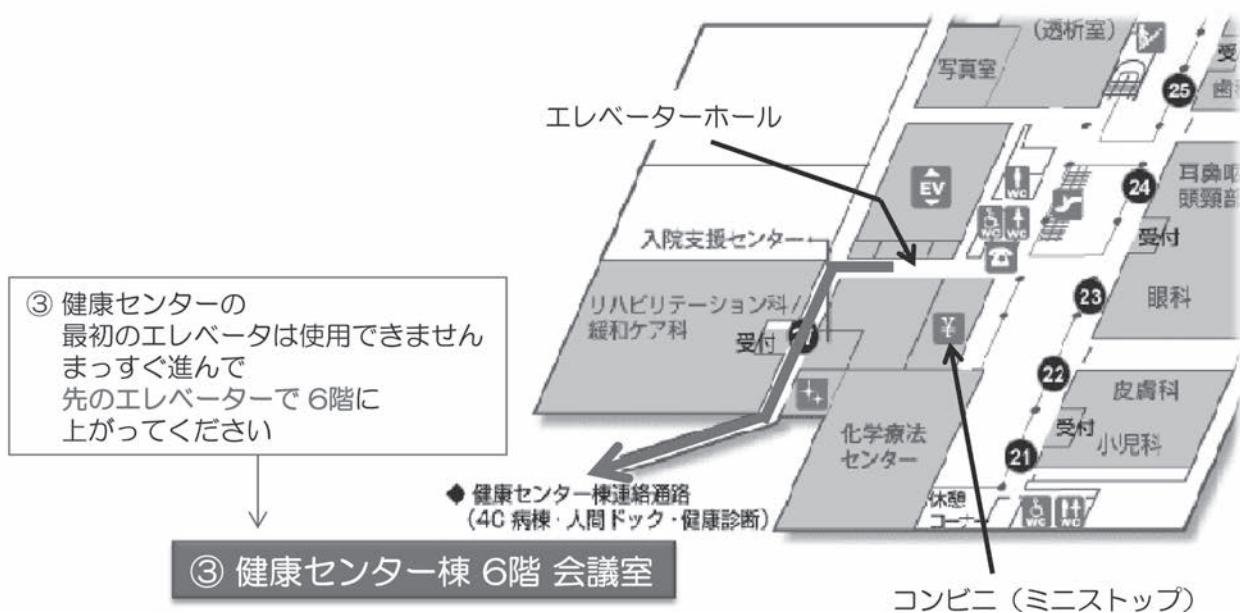
開催日	： 平成 28 年 10 月 8 日 (土) 午前 11 時～午後 2 時 30 分
会 場	： NTT 東日本関東病院 健康センター棟 6 階会議室
参加費	： 会員(循研・全循研) 3,000 円・非会員 5,000 円 (キット代含む)
定 員	： 25 名 (先着順で、定員になりしだい募集終了します)

事前申込制で、当研究会ホームページ上で平成 28 年 9 月 5 日 (月) から募集開始します
URL <http://citec2.web.fc2.com/> または、「CITEC」で検索して下さい

会場案内図



病院 2階





NPO法人日本消化器がん検診精度管理評価機構

胃X線精度管理研究委員会 第26回学術集会

開催日：平成28年10月29日（土曜日）

受付開始：13時から

開催場所：全電通労働会館ホール（御茶ノ水駅聖橋口より徒歩5分）

当番司会人：水谷 勝（東京都がん検診センター）

実行委員長：高嶋優子（東京都がん検診センター）

参加費：会員 1000円 非会員 3000円

テーマ「基準撮影法の現況と課題」

パネルディスカッション

パネリスト

鷲見和幸 倉敷成人病センター

金子英利 東京都がん検診センター

富樫聖子 東京都予防医学協会

中原慶太 佐賀県医師会成人病予防センター

吉田諭史 慶應義塾大学予防医療センター

症例検討会

第3回読影基準検討会

開催日時：平成28年10月30日（日曜日）

開催場所：東京医大講堂（丸ノ内線西新宿駅）

問合せ先

【胃X線精度管理研究委員会第26回学術集会事務局】

東京都がん検診センター

放射線科 高嶋優子

東京都府中市武蔵台2-9-2

TEL：042-327-0201（代表）

News

9月号

前回議事録確認

前回議事録について確認を行った。

理事会定数確認

出席：19名、欠席：1名

葛西副会長

理事会の開催に先立ちまして、去る5月14日に、逝去されました橋本宏顧問のご冥福を祈り、慎んで黙祷を捧げたいと思います。

会長挨拶

皆さま、本日もお疲れのところお集まりいただきましてありがとうございます。本年度、第3回の理事会になります。現在の理事、監事、役員の方は任期最後の理事会となります。また、今月は来週に日放技の総会、それから月末には本会のペイシェント学術大会および定期総会があります。皆さんにはご面倒をおかけするかと思いますが、参加および書面表決票の回収、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

報告事項

1) 会長

5月7日、8日に業務拡大にともなう統一講習会に出席しました。それから、冒頭で黙祷を捧げましたが5月14日、関東甲信越学術大会が開催されている時に、橋本宏顧問がお亡くなりになりました通夜、告別式に本会の慶弔規程に則って生花一対と弔辞を述べさせていただきました。

2) 副会長

葛西副会長

日 時：平成28年6月2日(木)
午後6時45分～午後7時30分
場 所：公益社団法人東京診療放射線技師会 事務所
出席理事：篠原健一、葛西一隆、白木 尚、石田秀樹、
関 真一、野口幸作、浅沼雅康、市川重司、
高坂知靖、高野修彰、安宅里美、藤田賢一、
平瀬繁男、竹安直行、岡部博之、千葉利昭、
飯島利幸、鈴木晋、工藤年男

出席監事：乙井不二夫

指名出席者：齊藤謙一（第1地区委員長）、関谷薰（第2地区委員長）、鈴木雄一（第5地区委員長）、稻毛秀一（第5地区委員）、高橋克行（第6地区委員長）、富丸佳一（第7地区委員長）、鎌田修（第8地区委員長）、今野重光（第10地区委員長）、崎浜秀幸（第13地区委員長）、内山秀彦（第14地区委員長）、原子満（第15地区委員長）、渡辺靖志（災害対策委員長）、長谷川雅一（総務委員）、雨宮広明（総務委員）、河内康志（総務委員）

欠席理事：江田哲男

議 長：篠原健一（会長）

司 会：葛西一隆（副会長）

議事録作成：河内康志

・5月29日（日）、フレッシャーズセミナーに出席致しました。

・5月31日（火）、あぜもと将吾を支える会多摩地域決起大会に出席致しました。

白木副会長

・5月21日（土）、会長が橋本顧問の葬儀参列のため、会長の代理として第70回東京支部学術大会の式典に出席致しました。

3) 業務執行理事

総務：石田理事

・活動報告書に追加なし。

経理：関理事

・活動報告書に追加なし。

庶務：野口理事

・活動報告書に追加なし。

4) 専門部委員会

・活動報告書に追加なし。

5) 支部・地区委員会

・第3地区委員会

・5月20日（金）、地区委員会を開催致しました。

・他、活動報告書に追加なし。

6) 特別委員会等

・活動報告書に追加なし。

7) その他・研修センター申請・事業報告

・活動報告書に追加なし。

議 事

1) 国際交流首都協定について

篠原会長：以前にも報告致しましたが、ソウルの放射線技師会より首都同士での交流をしていきたいとの申し出が

ありました。具体的な内容に関してはまだですが、10月の世界大会がソウルでありますので、その時に協定を締結できるように進めていきたいと思っています。

以上、よろしくご審議願います。

葛西副会長：意見、質問を求めたか特になかったので採決を諂った。

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

2) KSHS第6回全国大会後援名義申請について

運営委員会に事前資料を配布し、各委員に広く意見を求めた。

高坂広報委員長、篠原会長より補足説明し、意見、質問を求めたか特になかったので採決を諂った。

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

3) 南関東FRT第2回研修会後援名義承認について

運営委員会に事前資料を配布し、各委員に広く意見を求めた。

篠原会長より補足説明し、意見、質問を求めたか特になかったので採決を諂った。

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

4) 事業計画申請の件

①第15回サマーセミナー「急性疾患ア・ラ・カルトⅢ（外傷編）」

平成28年9月3日（土）15：00～18：00 東京医科大学研究教育棟3階第一講堂開催について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

②平成28年度城南支部研修会「（仮）放射線診療における診断参考レベルと被ばくの最適化」

平成28年9月30日（金）19：00～20：30 慈恵医科大学5階講堂開催について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

③平成28年度城北支部研修会「もし診療放射線技師が医療安全管理者になったら」

平成28年11月11日（金）19：00～20：30 東放技研修センター開催について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

④平成28年度第3回業務拡大に伴う統一講習会（南関東・東京）

テーマ：「業務拡大統一講習会」

平成28年9月3・4日（土・日）9：00～17：30 駒澤大学開催について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

⑤平成28年度第4回業務拡大に伴う統一講習会（南関東・東京）

テーマ：「業務拡大統一講習会」

平成28年11月19・20日（土・日）9：00～17：30 駒澤大学開催について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

5) 新入退会に関する件について

5月の新入会等について審議した。

新入会34名、転入2名、転出3名、退会3名

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

地区質問、意見に関する事項

1) 【第5地区】

総会書面評決票を集めるにあたり、年度が替わり新入会者も居られると思いますので、最新の名簿を配布いただきたい。

野口庶務委員長：本日、各地区の会員名簿を用意しましたのでお渡し致します。また、この件につきましては直接、連絡をいただければ対応できますので、よろしくお願い致します。

連絡事項

1) 編集委員会

・第14回ペイシェントケア学術大会の予稿集ができ上りました。本日、各地区に10部ずつ用意致しましたので、各地区委員長はお持ち帰りいただき、広報をお願いします。

2) 総務委員会

・第14回ペイシェントケア学術大会ならびに総会の当日の集合時間は、事務所に来れる方は8時30分にお願いします。また、会場に直接行かれる方は9時00分集合でお願いします。
・総会終了後、情報交換会を予定しています。参加人数を把握するため、総会近くになりましたら、各地区、委員会に連絡しますので参加人数をお知らせください。

3) 庶務委員会

・総会の書面表決票の集まりが芳しくありません。皆さま、ご協力をお願い致します。
・現在、総務委員会で委員名簿を作成しています。まだ、委員情報がすべて揃っていませんので、皆さまご協力をお願いします。後に、会誌への掲載や委嘱状をお渡しするためにも必要となりますので、よろしくお願い致します。

4) 情報委員会

・今月から、東放技のホームページの中に「求人情報」のページを設けました。詳細については資料をご参照ください。流れとしては、求人情報掲載を希望されるご施設の方が、当ページより求人登録票（Word）をダウンドロードしていただき、必要事項を入力の上、東放技まで求人登録票を添付し返信していただきます。内容について審査し、承認が得られればPDFに変換してホームページに掲載致します。就職希望の方は、当ページより求人内容を確認し、直接、求人施設に連絡していただきます。東放技は、仲介、斡旋は行いません。求人情報の掲載のみになります。

岡部委員長：掲載依頼については無料でできるのでしょうか

か。

安宅委員長：掲載については、公益の一環として無料になっています。

岡部委員長：会誌の求人情報の掲載は、有料でしたか。

浅沼委員長：会誌の掲載は、有料になっています。

藤田委員長：ホームページの求人情報の閲覧は会員以外の方もできるのでしょうか。

安宅委員長：できます。今のところ、会員のみということにはしていません

- ・ホームページに掲載する研修会情報ですが、情報委員が手作業で行っていますので掲載予定月の前月10日までに原稿を送っていただきますようにお願い致します。

5) 厚生調査委員会

- ・石田委員長：江田委員長の代理です。7月16日（土）15時30分よりシチズンボウルにてボウリング大会を開催致します。会費は懇親会込みで4,500円の予定です。例年通り、地区対抗で行います。申し込みの締め切りが7月5日となりますので、各地区で人選お願いします。また、申し込み用紙などについては厚生調査委員会より配信されますので、よろしくお願い致します。

6) 広報委員会

- ・看護フェスタも無事に開催されました。今後もイベントが続いていきますのでご協力お願い致します。

その他

- ・篠原会長：5月の新入会は34名の方がいますが、申し込みについてはもう少し多くの方がいました。それから、先日行われた第1回のフレッシャーズセミナーでは70名の方が参加されています。また、第2回のフレッシャーズセミナーにも50名ほどの申し込みがあり、この方々に働きかけることでより多くの方が入会していただけるよう皆さまにもご協力をお願い致します。

- ・千葉地区委員長：日放技の事業に関して地区の会員からの意見ですが、会長が日放技の理事でもあられますのでよろしいでしょうか。

篠原会長：はい。どうぞ。

千葉地区委員長：統一講習会のプログラムで1日以上がDVDによる講習になっています。これをeラーニングなどで代用することで、もう少し簡単に済ませることができますのでないか。という意見をいただきました。

篠原会長：日放技の理事会でもこのようなご意見があがっています。この件につきましては、野口教育委員（日放技）から説明致します。

野口教育委員：統一講習会を運営しているなかでも、このような意見があがっています。しかしながら、日放技と厚生労働省で対面式の講習会を行うと決められています。eラーニングでは、受講の確認ができない点などがあり、患者さんの安心、安全を担保する上では対面式の講習会が必要と考えられています。

篠原会長：個人的にはeラーニングにした方が受講しやすくて良いのではないかとも思いますが、厚生労働省からは統一的な講習会ということで、全国どこで受講しても同じ内容・同じ時間を費やすようにしなければならないということがあります。ですので、どこで受講しても同じDVDが流れるようになっていることをご理解いただきたい。また、今後もこのままのスタイルが良いかという点では多くの意見もありますので、日放技の理事会などにも意見を出しておきます。

千葉地区委員長：ありがとうございます。

・野口教育委員：年明けに統一講習会を予定しています。多摩方面での開催を考えていますので、100名ほどで実習もできるような会場の情報がありましたら、教えてください。お願い致します。

今後の予定

事業予定表のエクセルシートを逐次更新しておりますので、最新のものを確認して下さい。事業申請など状況を確認していただき、石田総務委員長まで連絡をお願いします。

以上

News

9月号

理事会定数確認

出席：20名、欠席：0名

会長挨拶

本年度も、定期総会にて理事が選出されました。このメンバーで一致団結し東京都診療放射線技師会を盛り上げていきたいと思います。皆さん、よろしくお願いします。

報告事項

1) 副会長の選定について審議した。

白木 尚 理事

石田秀樹 理事

篠原会長：副会長として白木尚理事および石田秀樹理事の

日 時：平成28年6月26日(日)
午後5時30分～午後5時40分
場 所：日暮里サニーホール 4F
出席理事：篠原健一、白木 尚、石田秀樹、鈴木雄一、
関 真一、野口幸作、高野修彰、浅沼雅康、
市川重司、長谷川雅一、江田哲男、安宅里美、
齊藤謙一、平瀬繁男、竹安直行、高橋克行、
市川篤志、崎浜秀幸、原子満、工藤年男
出席監事：葛西一隆、野田扇三郎
議 長：篠原健一（会長）
議事録作成：鈴木雄一

2名を選定したい。

【承認：20名、保留：0名、否認0名】

2) 業務執行理事の選定について審議した。

総務委員会：鈴木雄一 理事

庶務委員会：野口幸作 理事

経理委員会：関 真一 理事

篠原会長：業務執行理事としてそれぞれ鈴木雄一理事（総務）、関真一理事（経理）、野口幸作理事（庶務）を選定したい。

【承認：20名、保留：0名、否認0名】

以上

MORIYAMA多目的診断用保持具

Round Foam

多目的診断用保持具・ラウンドフォーム



しっかりと安定、ラクラク撮影!
患者さんの負担を軽減し、
撮影の妨げを解消する
「ラウンドフォーム」

ラウンド加工により、
患者さんにもやさしいソフトな感触。
X線撮影時にエッジ部分が
写り難くなりました。

MORIYAMA
Round FOAM

MORIYAMA 株式会社森山X線用品

営業部/〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目24番11号 TEL.03-3811-5811(代) FAX.03-3811-5484
本 社/〒123-0873 東京都足立区扇1丁目52番12号 TEL.03-3898-3151(代) FAX.03-3898-3510
MORIYAMA X-RAY EQUIPMENTS CO.,LTD. <http://www.moriyama-x.co.jp> E-mail info@moriyama-x.co.jp

※RoHS指令(特定の有害物質使用規制に関する指令)に対応しております。

News

9月号

前回議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

理事会定数確認

出席：19名、欠席：1名

会長挨拶

新執行体制となってから初めての理事会となります。先日の総会で、皆さまに信任していただきまして、4期目をお預かりすることとなりました。皆さま、よろしくお願い申し上げます。

報告事項

1) 会長

7月3日に日本診療放射線技師会の第三回理事会が開催されましたのでご報告いたします。まず、中澤会長より3つのお話をありました。1つ目は、日本診療放射線技師会も6月より新しい執行体制となりましたので、ご協力よろしくお願いしますというお話。2つ目は、日本診療放射線技師会として取り組んでいくいくつかの事柄の中で、重要な位置づけの一つとして、診療放射線技師の教育内容の見直しを厚生労働省に申請中であるというお話がありました。具体的な内容としては、業務範囲拡大に伴う教育カリキュラムの見直し、臨床実習体制を見学型から参加型へ転換するということです。3つ目は、静岡県の医療科学専門学校の診療放射線技師養成コースの開設計画に対して、静岡県診療放射線技師会と連携をして計画の見直しを要求していくということでした。日本診療放射線技師会では、放射線技師学校での四年制大学以上の教育が必要であると考えております。今後も各都

日 時：平成28年7月7日(木)

午後6時45分～午後8時00分

場 所：公益社団法人東京診療放射線技師会 事務所

出席理事：篠原健一、白木 尚、石田秀樹、関 真一、野口幸作、浅沼雅康、江田哲男、高野修彰、長谷川雅一、鈴木雄一、齊藤謙一、竹安直行、平瀬繁男、高橋克行、安宅里美、市川篤志、崎浜秀幸、原子 満、工藤年男

出席監事：葛西一隆

指名出席者：関谷 薫（第2地区委員長）、稻毛秀一（第5地区委員長）、富丸佳一（第7地区委員長）、鎌田 修（第8地区委員長）、澤田恒久（第10地区委員長）、千葉利昭（11地区委員長）、鈴木 晋（第12地区委員長）、宮谷勝巳（第14地区委員長）、村山嘉隆（総務委員）、雨宮広明（総務委員）、大脇由樹（総務委員）

欠席理事：市川重司

議 長：篠原健一（会長）

司 会：白木 尚（副会長）

議事録作成：大脇由樹

道府県で監視を行い、専門学校が開設される動きがあつた場合には早めに協議が行えるようご協力をお願いいたします。

・その他、活動報告書に追加なし

2) 副会長

白木副会長

・活動報告書に追加なし

石田副会長

・活動報告書に追加なし

3) 業務執行理事

総務：鈴木理事

・活動報告書に追加なし

経理：関理事

・活動報告書に追加なし

庶務：野口理事

・活動報告書に追加なし

4) 専門部委員会

・総務委員会

総務委員会、広報委員会より

委員の変更について報告があり承認された。（総務委員会で変更報告を取りまとめる）

・学術委員会（白木会長より代弁）

ペイシエントケア学術大会へのご協力ありがとうございました。市川理事より伝言を預かっております。

・その他、活動報告書に追加なし

5) 支部・地区委員会

・第1地区、第2地区、第8地区、第11地区、第15地区より委員の変更について報告があり承認された。（総務委員会で変更報告を取りまとめる）

・活動報告書に追加なし

- 6) 特別委員会等
 - ・活動報告書に追加なし
- 7) その他・研修センター申請・事業報告
 - ・活動報告書に追加なし

議 事

- 8) ①事業申請「第16回合同学術講演会」に関する件
「科学テロ対策」「自然災害に対する放射線技師の役割（貢献）」
平成28年10月8日（土）
場所：災害医療センター研修室
上記の事業について審議した。
【承認：19名、保留：0名、否認0名】
- ②事業申請「サーベイメータ確認校正事業」に関する件
「各施設保有のサーベイメータを適正に使用するための奨励の一環として確認校正を行うことを目的とする」
平成28年11月6日（日）9:00～17:00
場所：駒澤大学
上記の事業について審議した。
【承認：19名、保留：0名、否認0名】
- ③事業申請「平成28年度 第11地区研修会」に関する件
「脊椎MRI（再）入門」
平成28年11月10日（木）19:00～20:30
場所：東邦大学医療センター大橋病院 教育棟1F臨床講堂
上記の事業について審議した。
【承認：19名、保留：0名、否認0名】
- ④事業申請「平成28年度 第3地区研修会」に関する件
「ティーチングファイル－ここがポイント－私が出会った症例」
平成28年11月25日（金）19:00～20:30
場所：東京医科大学病院 研究教育棟4階 第二講堂
上記の事業について審議した。
【承認：19名、保留：0名、否認0名】
- ⑤新入会等、会費免除申請に関する件
6月の新入会等について審議した。
新入会 38名、転入2名、退会2名
【承認：19名、保留：0名、否認0名】

地区質問、意見に関する事項

- ・特になし

連絡事項

- 1) 経理委員会
会費滞納者のリストを資料に入れさせていただいております。お声がけできる方がいらっしゃいましたらお願い申し上げます。猶予期限の目安としては8月末までと考えています。

2) 涉外委員会

先日の総会時の表彰に欠席された方の賞状を預かっておりますので、該当者の地区委員長は引き取りと授与をよろしくお願ひいたします。

3) 厚生調査委員会

ボウリング大会を7月16日（土）の15時30分スタートで行います。

ゲーム・表彰式・懇親会（一式）を兼ねて、高田馬場のシチズンプラザにて開催しますので、時間厳守でお集まりいただけますようお願い致します。また、TART事務所には募金箱を設置させていただきました。災害発生時に対応できるよう、活動を行ってまいりたいと考えておりますので、ご協力お願い申し上げます。また、先日の熊本での震災時のJARTで募った義援金は19,009円でした。みなさまのご協力に感謝申し上げます。

4) 学術教育委員会（白木副会長より代弁）

第58回日暮里塾ワンコインセミナーの事前申し込み数が芳しくありません。7月12日（火）開催となりますのでもう一度お声がけいただきまして、是非参加のほど、よろしくお願い申し上げます。

5) 編集委員会

配付資料の中に支部・地区の研修会をメインとした会誌掲載原稿雛形と、輪番制で会誌掲載お願いしております「イエローケーキ」の順番表がありますので、ご確認いただきご不明な点はお問い合わせください。

白木副会長：7月23日の新人役員研修会にて、各種申請書等様式の雛形説明や会務を進めていく上で確認事項に関する研修を行いますので、新役員ではない方も奮ってご参加ください。総務委員会から後日、出欠の確認連絡をします。

6) 情報委員会

求人情報の掲載手順についてですが、こちらは情報委員向けのマニュアルのようなものですので、参考程度に見ていただけたらと思います。また、ホームページの役員名簿を新しいものに変えてありますので、訂正がありましたらご連絡をお願い申し上げます。また、tartメールは現在新旧役員のアドレスを登録していますが、明日（7月8日）旧役員のアドレスは削除します。

千葉委員長：求人情報はホームページにのみ載せるのでしょうか。会誌に求人情報を載せるのは有料、ホームページは無料であったと記憶しております。

安宅理事：会誌に載せるものは会員に向けたものですが、ホームページ上に載せるものは公益事業の一貫であるという観点で行わせていただいております。

千葉委員長：それでは、有料の会誌を申し込みする利点がなくなってしまうのではないかでしょうか。

篠原会長：効果を考えるのは依頼側の問題で、われわれは収益を上げることが目的ではないのでこのようなスタン

スをとっています。

浅沼理事：今月も、会誌・ホームページ両方の掲載依頼が
きております。

7) 庶務委員会

総会時に質問がありました、平成27年度の会員数について説明をさせていただきます。会員の総数に訂正ありません。“減”の方に会費未納退会が抜けておりました。お詫び申し上げます。

8) 城東支部

7月14日に行われる城東支部研修会への参加をお願いします。事前申し込みは終了しております、現在50名を超えてます。当日申し込みを設けますが、立ち見となってしまう可能性がありますのでご了承願います。

10) 白木副会長

篠原会長より、定款の見直しをしたいというお話がありました。総会を代議員制にしたいということが大きな項目となっております。休止していた定款諸規定等委員会を再開して進めていきますので、各地区から定款改正について意見がありましたらよろしくお願ひいたします。

篠原会長：大きな点としては代議員制ですが、他にも何か変更したい点がありましたら今後検討を行ったのち、来年の総会で定款改正できるよう取り組んで行きますので、ご意見お願いいたします。代議員制にしようと考えている理由は、東京都は東西に長く、また、書面評決・委任状を集めると時間がかかります。土日の勤務の方も多くいらっしゃいますので、多くの方が総会に足を運ぶことは難しいかと考えられます。そのため、地区の人数に

合わせて代議員制にすることを提案いたします。東京都臨床検査技師会が公益社団法人移行の際、東京都からの進言を受けて代議員制を取り入れております。本会よりも臨床検査技師会の会員数が多いため、行政指導の線引きがどうなるかは分かりませんが、申請を進めていこうと考えておりますので、ご協力お願い申し上げます。

11) 篠原会長

南関東地域理事としての連絡を三点いたします。1つ目はJCRTの学術大会が9月の16～18日に岐阜で開催されます。事前登録が7月29日までですので、よろしくお願ひ申し上げます。2つ目は統一講習会の受講者数を地域単位でしっかり管理して欲しいという話です。ご存知の通り南関東と北関東合同で関東甲信越として、実習指導者の養成を行っておりますので、このような場合も教育委員会と密に連絡を取り合っていただきたいと考えています。3つ目は8月28日に日本放射線技術学会との合同でJJセミナーが開催されます。今回は東京での開催となりますのでご参加をお願いいたします。

今後の予定

次回理事会は9月の開催となります、その間にも専門部委員会は開催されますので、事業申請などありましたら早めに提出をお願いいたします。他に関しては予定表（添付ファイル）の確認をお願いします。

以上

会員動向

平成28年1~6月期

年 月	総会員数	新 入	転 入	転 出	退 会
平成28年1月	2,154	5	0	0	4
平成28年2月	2,156	8	5	1	10
平成28年3月	2,136	3	7	2	28
平成28年4月	2,146	12	4	1	5
平成28年5月	2,176	34	2	3	3
平成28年6月	2,214	38	2	0	2

診療放射線技師募集

公益財団法人結核予防会 第一健康相談所

募集対象者：診療放射線技師

待 遇：基本給213,301円(大卒)～、勤務年数により加算

勤 務 時 間：日勤 8:30～17:00、休日 週休2日制(第一・第三土曜日交代制)、有給20日、夏期5日

募 集 人 員：若干名(非常勤も可、時給は経歴により加算)

宿舎の有無：なし

保 險：健康、厚生、雇用、労災

応 募 方 法：履歴書をご送付ください。後日連絡します。

勤 務 内 容：巡回健康診断、施設内健康診断、人間ドック 他

胸部撮影、上部消化管検査、CT検査、マンモグラフィー、骨密度検査

住 所：〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-3-12

TEL：03-3292-9227 FAX：03-3292-9335

E-mail：w-shimokawa@jatahq.org 担当者：下川

学術講演会・研修会等の開催予定

日時、会場等詳細につきましては、会誌でご案内しますので必ず確認してください。

平成28年度

1. 学術研修会

☆第15回サマーセミナー 平成28年9月3日(土)

第19回メディカルマネジメント研修会 平成28年11月

☆第15回ウインターセミナー 平成29年1月

2. きめこまかな生涯教育

第58回きめこまかな生涯教育 平成28年10月29日(土)

第59回きめこまかな生涯教育 平成29年2月

☆3. 日暮里塾ワンコインセミナー

第60回日暮里塾ワンコインセミナー 平成28年9月28日(水)

☆4. 第16回東放技・東京支部合同学術講演会

平成28年10月8日(土)

5. 集中講習会

第9回MRⅠ集中講習会 平成29年2月

☆6. 支部研修会

城南支部研修会 平成28年9月30日(金)

城北支部研修会 平成28年11月11日(金)

城西支部研修会

7. 地区研修会

第11地区研修会 平成28年11月10日(木)

8. 別別委員会研修会

電離箱式サーベイメータ確認校正 平成28年11月6日(日)

S R推進委員会研修会(旧災害対策委員会研修会) 平成29年3月

9. 地球環境保全活動

荒川河川敷清掃活動

日暮里駅前清掃活動

富津海岸清掃活動

関連団体

平成28年度第3回業務拡大に伴う統一講習会 平成28年9月3日(土)～4日(日)

第32回日本診療放射線技師学術大会 平成28年9月16日(金)～18日(日)

平成28年度第2回関東Angio研究会 平成28年9月25日(日)

超音波画像研究会 第246回定例会 平成28年9月28日(水)

第5回冠動脈模型作成セミナー 平成28年10月8日(土)

超音波画像研究会 第13回ワンバイツー講習会 平成28年10月23日(日)

胃X線精度管理研究委員会 第26回学術集会 平成28年10月29日(土)

超音波画像研究会 第247回定例会 平成28年11月9日(水)

平成28年度第4回業務拡大に伴う統一講習会 平成28年11月19日(土)～20日(日)

☆印は新卒かつ新入会 無料招待企画です。

(新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう)

公益社団法人 東京都診療放射線技師会 研修会等申込書

研修会名	第 回	
開催日	平成 年 月 日() ~ 月 日()	
会員/非会員 (必須)	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 一般 ※ 日放技会員番号(必須) [] <input type="checkbox"/> 新卒かつ新入会の方はチェック	
所属地区	第 地区 または 東京都以外 [] 県	
ふりがな		
氏名		
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性	
連絡先	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 施設 ⇒ 施設名 []	
	TEL (必須)	
	FAX	
	メール (PCアドレス)	
備考		

FAX 03-3806-7724
公益社団法人 東京都診療放射線技師会 事務所

診療放射線学科専任教員募集

東京電子専門学校

医療・コンピュータ・電子の総合学園、創立70年の伝統と4省認定校

募集対象者：診療放射線技師（臨床実務経験5年以上）、教育経験あればなお可

募集人員：若干名

学校名：東京電子専門学校

住所：〒170-8418 東京都豊島区東池袋3丁目6番1号

待遇：経歴、資格、前給等を考慮して本校規定により優遇

賞与（昨年度実績5.45月）、交通費支給

勤務・休日：9:00～17:00（実動7時間）、週休2日（土日祭休）休出は代休有、半日有給制度有

社会保険：社会保険完備（私学共済）

宿舎の有無：なし

応募方法：履歴書（写）、職務経歴書、資格者証のコピー（必要なもののみ）、通勤可能な方、担当できる教科（可能であればお知らせください）

担当者：脇坂 哲夫 E-mail : saiyo@tokyo-ec.ac.jp

TEL : 03(3982)3131(大代表) FAX : 03(3980)6404

JMB 医療スタッフ随時募集中!!

診療放射線技師・看護師・保健師・臨床検査技師・薬剤師・歯科衛生士・管理栄養士

当社は、今迄数多くの病院・医療機関等より要請を承っております。

勤務の内容や時間帯、単発的なアルバイトや転職など、皆さまのご希望に合わせてお仕事をご紹介いたします。

医療スタッフを随時募集しております。ご友人などのご紹介も随時受け付けております。

★まずはお気軽にご連絡下さい。詳しくご説明させて頂きます。

★登録・紹介料は不要です。

★受付時間 平日 9:00～17:30

土曜日 9:00～13:00

（日曜日・祝祭日休み）

株式会社ジャパン・メディカル・ブランチ

フリーダイヤル 0120-08-5801

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西6丁目17番5号 TEL : 03-3869-5801

URL : <http://www.jmb88.co.jp> FAX : 03-3869-5802 E-mail : info@jmb88.co.jp

一般労働者派遣事業許可 般13-301371 有料職業紹介事業許可 13-ユ-130023

Postscript

皆さまはじめまして。この度編集後記デビューをいたします、新米技師のAYNです。今年の春に大学を卒業し、技師として働き始めて数ヶ月…、気づいたら東放技編集委員会の一員となっていました(笑)。職場の上司が東放技の理事を務めていることもあり、どこかしらの委員会に所属して色々勉強しなさいというお話をあらかじめ受けていましたが、まさか編集委員になると予想もできませんでした。というのも、私は中学受験の時から根っからの理系で国語が全くできず、文章力がないのはもちろんのこと、文章の添削・推敲という術を当然得ることもなくこれまで生きてきました。しかしこの話を委員会初参加の際にしましたところ、A委員長から「きっと神様が今の君に足りないものをここ(編集委員会)で補えるように仕向けたんだよ」というお言葉をかけてくださいましたことで、私が編集委員になったことも自分で納得ができ、ゼロから頑張ろうと前向きに思えるようになりました。今はまだお手伝い程度の仕事しかできませんが、早く編集委員の皆さまのお力になれるように頑張りますのでご指導の程よろしくお

願いいたします。

さて話は変わりますが、私は入職してすぐ、上司の教えのもと、社会人として自分の名刺を作ることになりました。ここ数ヶ月は勉強会や学会に参加するたびに名刺を配りに配り、もうすぐ4月に作成した100枚がなくなりそうな勢いです。そんな私が自己紹介をする時に名前をより覚えてもらえるよう毎回使うネタがあります。それは、大学時代にはほとんどの時間とお金を注ぎ込んだ社交ダンスです。ちょうど一年前は、診療放射線技師になるか、それともプロのダンサーになるか本気で悩むほど没頭していました。結局現在診療放射線技師として日々を突っ走っていますが、いつかまた余裕が出てきたころに趣味としてダンスが始められたらなと思っています。

ペンネームはA委員長がダンス好きの私のために以下のようにつけてくださいました。皆さま今後ともよろしくお願ひいたします。

Rumba AYN

■ 広告掲載社

公益財団法人結核予防会
コニカミノルタジャパン(株)
(株)ジャパン・メディカル・プランチ
東京電子専門学校
東芝メディカルシステムズ(株)
(株)日立製作所
富士フィルムメディカル(株)
(株)森山X線用品

東京放射線 第63巻 第8号

平成28年8月25日 印刷(毎月1回1日発行)

平成28年9月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号

〒116-0013 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

会長 篠原健一

編集代表 浅沼雅康

振替口座 00190-0-112644

電話 東京(03)3806-7724 <http://www.tart.jp/>

事務所 執務時間 月～金 9:30～17:00

案内 ただし土曜・日曜・祝日および12月29日～1月4日までは執務いたしません

電話・FAX (03)3806-7724

編集スタッフ

浅沼雅康

内藤哲也

岩井譜憲

森美加

高橋克行

田沼征一

山崎綾乃